

● 主な活動の記録 (7月～9月)

7月5日(日) 里山林機能回復整備事業 ー森林環境税対象ー

今年度2回目となる二上山々麓登山道沿いの里山整備作業を実施。前回に引続き林内整備を行うと共に、雑木林が途切れたところに大きく伸びたササ竹が繁茂している一帯の刈取り。結構傾斜のきついこともあり二段・三段切り、暑さも加わりかなりの苦戦を強いられた。

7月11日(土) 定例活動 <総会> 矢田山遊びの森

30名弱が参加。「野鳥の森」の下草刈りと7月20日当地で開催される「なら森を育てる県民の集い」のイベントとして行うクラフトの材料としての竹材の切り出しを行った。

午後に開催された当クラブの21年度の総会では、まず上田代表より楽しくかつ安全第一で活動を継続する大切を強調された挨拶に続いて、式次第に則り議事が進められた。日月副代表より

1) 20年度の事業報告と収支決算案

2) 21年度の事業計画・収支予算案

が示され、全員の拍手で承認。ついで各事業毎の成果報告、今後の業務分担、事業担当者の割振りの発表があり、最後に昨年来懸案となっているNPO法人化につき、セブン・イレブンみどりの基金の「NPO法人格取得」の助成が来年2月が取得期限となっていることから待ったなしのスケジュール化、これに向けて会員の意見を広く徴集するためのアンケートの内容につき説明を受けた。最後に、当クラブが事務局を務めている奈良県森林ボランティア連絡協議会石野会長より過日開催された同会の総会の内容及び同会設立の趣旨についてあらためて説明があって閉会。おやつにはもぎたての山の畑でとれた甘いトウモロコシを焼いたのを食した。

7月20日(月) 「なら森を育てる県民の集い」 主催：奈良県・(財)奈良県緑化推進協会「山と森林の月間」として県下各地の山・川で開催される各種イベントの皮切りとなるこの集いが、「奈良県山の日・川の日」であるこの日、矢田山遊びの森で多くの県民参加の下、催された。式典では窪田副知事の挨拶、来賓祝辞、来賓紹介に続き緑化功労者・緑化作品コンクール入賞者の表彰が行われた。終了後参加者は多くの協賛・協同団体による各種ふれあいイベントに足を向けた。

当クラブは竹馬・水鉄砲づくり指導と竹炭の窯出し体験を担当。竹馬づくりでは準備しておいた材料が午前中に出尽くしたため、午後からは竹馬乗りの練習をしている子ども達のアシストを行った。苦労の末ようやく一人で乗れるようになった子の満足そうな笑顔が一時暑さを忘れさせた。水鉄砲を使って風船割りに挑戦したがなかなかうまく割れず、子どもそこのけに大人が必死にトライする場面もあった。予め焼いておいた竹炭の窯出し、子ども達の手をかりて窯を開け、慎重に炭を取出し、各自少しづつ袋に詰めて持帰った。

イベントとは別に、前日の会場設営、終了後の撤収作業を多くのクラブ員が手伝った。

式典風景

特訓中

風船割り

竹炭窯出し



7月25日(土) 「親子の森林作業体験とバームクーヘン・木工クラフトづくり」

「山と森林の月間」協賛イベント①

地球温暖防止の一助となるべく樹木が元気に育つように下草刈りを体験すると共に、夏の一日の思い出づくりとなるイベントを矢田山遊びの森で開催。親子づれ約70名が参加。本イベントの趣旨説明を受け、全員で「愛の森」植栽地に入り、まず作業の要領・注意点をリーダーから聞き、個々に当クラブ員の指導を受けながら植栽木一本一本の周りの草をカマで丁寧に刈りとり30分ほどで作業終了。

この後、半数は料理体験館へ移りバームクーヘンづくり、残りは子ども交流館で木工クラフト。リョウブ・ウズミザクラの輪切りをベースに木の実・殻を使ったりして思い思いの作品を作り上げていった。バームクーヘンづくりでは竹に生地をからませ炭火の上でゆっくり焼き、何度も生地を重ねながら徐々に大きくし、こんがり焼き上げた。午後からは入れ替わってそれぞれを体験。最後にアンケートを書き上げ、バームクーヘンをお土産にもらって散会。

注意を良く聞いて



作業風景



バームクーヘンづくり



何ができるかな？



8月3日(月) 環境出前講座

奈良市地球温暖化対策地域協議会(通称 NEW=ならえこえこのわ)の構成員として、NEW 環境出前講座で森林の素材を使ったクラフトを担当。今回は六条山団地子ども会からの要請を受け、同団地で保護者を含め約30名が参加。竹を利用したのじーぜみと笛づくりを、当クラブ員4名で指導に当たった。3のグループに分かれ、各指導者より作り方の手順の説明を受けながら、まずのじーぜみをつくり、すぐに試してみたいとはやる気を押さえさせ、糊が乾くのを待つ間に、取組んだ竹笛づくりが終る頃には、両方の音色を試し楽しんだ。最後に音の出る仕組み(共鳴)についての説明を聞き、うなずきながら解散。

8月8日(土)「山の料理、森林作業体験とクラフト作り」

「山と森林の月間」協賛イベント②

定例活動の中で実施。一般参加16グループ51名。2グループ10名が無断欠席、本イベントは好評でキャンセル待ちがあっただけに残念。

スケジュールは盛りだくさんで、開会式後、料理体験館に移り、炊飯とカレー用食材調理の2グループに分かれた。炊飯グループは大釜で炊くごはんをめずらしそうにながめていた。食材調理は、ジャコ、ニンジ、タマネギの皮をむき・切る作業を行った。煮込みはスタッフにまかせ、森林作業体験へり、ヘルメットをかぶり、かまを持って「野鳥の森」へ。4つの班に分かれ、指導者よりかまの使い方などの説明を受け、柿、グミ、ガマズミなどの木のまわりの草刈りを行った。

12時過ぎに料理体験館に戻ると、カレーは出来上がっていた。自分たちも調理に加わったこともあってか、おかわりする子供たちもいた。

午後のクラフト体験は2つのグループに分かれ、竹細工として水鉄砲・貯金箱づくり、木工クラフトとして木マル君づくりをそれぞれ入れ替わって体験した。2時半ごろ閉会式、解散。子供たちは、両手に作品を持って、楽しそうにお礼を言って帰っていった。

炊 飯



食 材 調 理



下草刈り作業



クラフト風景



8月8日（土） 「古事の森」イベント

斑鳩の里法隆寺古事の森育成協議会主催で、野山国有林で平成17年に植樹した木々の周りの下草をカマで刈り取る作業を実施。この日は生憎上記のイベントと重なったため、当クラブより4名、一般を含め20名が参加。国有林管理事務所より、事業の趣旨説明を受け、中腹を一行横隊で上下に刈り進んだ。

午後は、近くの80年を超える大きなヒノキの下で、古事の森の経緯と桧皮の森の現状の説明を受け、幾つかの質疑応答があって散会。

8月13日（木）～15日（土） 「森の学校」 葛城山々頂

お盆の時期恒例となった本イベント、奈良県中部農林振興事務所が主催、「山と森林の月間」協賛事業として開催され、同事務所から当クラブにクラフト指導の要請を受け、延べ6名が指導に当たった。3日間で350名を超える参加者があり、まずそれぞれの年齢に応じた森林の働き・動植物等に関する森林環境クイズに挑戦してから、ジージーゼミか竹笛のいずれかを作った。山頂付近で終日ジージーゼミと竹笛の音があちらこちらで聞こえていた。

8月22日（土） 「山の料理、森林作業体験とクラフト作り」

「山と森林の月間」協賛イベント③

協賛イベント最後となる、この日矢田山遊びの森料理体験館前に、親子づれ一般参加者約50名とクラブ員が集い、まず全員で昼食のカレーライス用の炊飯、具材の調理を約一時間行った。煮上がる間にモミジ谷の雑木林に4班に分かれ入り、スタッフの指導を受けながら除伐・もやかきによる林内整備を行った。小さな子供もがんばってノコで木を切り進み、明るさを取戻しスッキリした林を振り返り満足気だった。森林作業で体を動かしたこともあってか、昼食のカレーをおかわりする子どももあった。

午後のクラフトでは、1) 木片や木の実を使ってのペンダント・置物づくり、2) 竹細工（コップ・花瓶・水鉄砲づくり）の二手に分かれ入替わりながら、一人2作品を作り上げた。最後に今後の参考のためにアンケートに記入してもらって散会。

仕込中



兄弟力を合わせて



竹を切って



水鉄砲試射



8月29日（土） 「奈良阪集いの森」

—先駆的先導的森林づくりボランティア活動支援事業—

平城宮跡特別保存地区にある荒廃した里山を、明るく親しまれる里山に再生し、子供達に森林を通し、自然や命の大切さを理解させ、かつ世代間交流の憩いの場づくりを目指事業。参加者10数名は、10月初旬予定しているイベントの環境づくりを兼ね、午前中雑木林で林内整備、植栽地の下草刈り。作業を終えた頃生憎降り出した雨も、昼休みを終える頃には上がり、竹林の整備を行った。雨の影響で強烈に蒸し暑い中であつたが無事予定の作業を終了。

8月31日（月） クラフト指導 筒井県立盲啞学校

生徒と先生方10名が参加。当クラブ員4名が同校に出向いて指導にあつた。従来寮内で主に小学生を対象に毎学期内容を変え実施してきたが、今回は中・高学年生が相手故、多少手の込んだものとして、「葉っぱの変身」パタパタづくりをした。厚紙の表に貼り付けた木の葉っぱが、紙を裏返すことなくパタパタと振る間に別の葉っぱに入れ替わるマジックのような仕掛。

9月12日（土） 宙（おおぞら）塾 間伐体験

誓多林町にある同塾の協力者が所有するヒノキ林（25年生）で塾生5名とそのスタッフに指導を行った。まず、雑草・ツルが生茂るアクセスをカマを使って切開きながら現場へ。間伐の意義・必要性を一緒に考えてから、作業要領と注意点の説明を聞いた上で作業に入った。子ども達だけで安全に倒す方向を話し合い意見の一致をみてから、ノコギリを使って伐倒・枝払い・玉切りを交替で体験。材を肩に担いで麓まで運び出した。

午後カマを使っての皮むきを体験。最初は危な気な手付きだったが、だんだんとコツを掴むにつれ、おしゃべりだった子どももただ黙々と手を動かし一人一本ずつむき終えた。

道の切り開き



方向ヨシ一伐倒



枝払い



皮むき

